

おやま 市議会だより



第249号

●主な内容

平成23年度全会計予算案を可決

議案とその内容……………②	市政一般質問……………④～⑪
請願・陳情……………②～③	議会日誌……………⑫
意見書・人事案件……………③	行政視察報告……………⑫
常任委員会報告……………③～④	

平成23年 4月25日号



春本番を告げるあんずの里（生井）

2月 定例会のあらまし

平成23年2月22日～3月17日

平成23年第1回（2月）定例会は、2月22日～3月17日までの24日間の会期で開かれました。本定例会では、平成23年度一般会計・各特別会計予算案をはじめ、条例の改正などについて審議しました。

2月22日、市長から市政一般および近況について報告があり、続いて議案29件、報告2件が上程され、提案理由の説明を受けました。

2月24日、25日、28日、3月1日は、18人の議員が登壇し、市政に対し一般質問を行いました。

3月1日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、3日、4日、7日、8日に各常任委員会が、9日には予算審査特別委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

17日には、各委員長報告があり、審議の結果議案29件を可決、陳情1件を採択と決し、さらに議案1件、人事案件2件、意見書案1件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

主な議決議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

市民病院建設基本計画策定事業、生活保護就労支援事業など。

◆平成23年度小山市一般会計
予算 予算総額は546億6000万円。主な新規事業は、石ノ上橋側道橋新設事業、小山駅東口第2期再整備事業、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業、本場結城紬生産振興事業、個別所得補償制度推進事業、LED型防犯灯・交通安全灯設置修繕事業、草木系バイオマス炭化事業、ラムサール条約湿地登録推進事業、小児用肺炎球菌ワクチン接種費助成事業、ひとり親家庭在宅就業支援事業、新小山

◆平成23年度小山市特別会計
予算（8会計） 各特別会計の予算総額は ①国民健康保険（事業勘定）156億4000万円 ②介護保険79億2050万円 ③後期高齢者医療11億5980万円 ④墓園やすらぎの森事業1億2620万円 ⑤与良川水系湛水防除事業3530万円 ⑥農業集落排水処理事業9億9240万円 ⑦公共用地先行取得事業2360万円 ⑧公共下水道事業48億3830万円

◆小山市税条例の一部改正

電気軽自動車等の普及促進を図り、所有者の税負担の軽減を図ることを目的に、電気軽自動車等に対して課税する軽自動車税の減免を実施するため改正するもの。

改正点 電気軽自動車等（電気を動力源とする内燃機関を有しない原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車および二輪の小型自動車）に課税する平成23年度から27年度までの各年度分の軽自動車税に限り減免する。

施行日 平成23年4月1日

◆平成22年度小山市一般会計
補正予算（第6号） 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によつて被害を受けた公共施設等の復旧に速やかに対処するため、歳入歳出予算に



公用車となっている電気自動車

それぞれ1億5520万6000円を追加するもの。主な歳出内訳は、災害応急対策事業費、農業用施設災害復旧事業費、民生施設災害復旧事業費、公立学校施設災害復旧事業費、社会教育施設災害復旧事業費、その他公共施設・公用施設災害復旧事業費など。

請願・陳情

2月定例会では、新たに受理した陳情1件と継続審査としていた陳情4件を審査しました。その結果、1件を採択1件を不採択、3件を閉会中の継続審査としました。

新たに受理したもの

陳情 1件

●環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加断固阻止に関する陳情書

〔提出者〕 小山市神鳥谷11-32

小山農業協同組合

代表理事組合長 鈴木喜代志

〔趣旨〕 TPPへの参加は、我々の生活から、国産の「食」を失わせるだけでなく国土保全をはじめとする農林水産業が果たしている多面的機能の喪失につながるものです。そして我が国の「食」と「農林漁業」を支える人々の暮らし、ひいては地域経済にも壊滅的な打撃を与えることになるため、TPPへの参加を断じて認めることはできない。

▽審査結果 採択

継続審査に付されていたもの

陳情 4件

●エネルギー回収推進施設に関する陳情書

▽審査結果 継続審査

●大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求めらる陳情書

▽審査結果 継続審査

●住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充について国への意見書提出を求める陳情書

▽審査結果 不採択

●「公契約で働く人のディーセント・ワークを実現し、経済成長につながる公契約基本法の制定を求める意見書」の提出を求める陳情書

▽審査結果 継続審査

意見書

定例会最終日、意見書案が1件提出されました。

審議の結果、原案どおり可決し、内閣総理大臣ほか衆参両院議長、関係大臣あて送付しました。

◆環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加断固阻止に関する意見書

(岸興平議員ほか3名)

人事案件

教育委員会委員の任命

小山市西城南3丁目13番地6

酒井 一行(新任)

昭和23年7月23日生

副市長に宮嶋氏

定例会最終日、小山市副市長に宮嶋誠氏を選任することについて議案が提出され、議会はこれに同意しました。

副市長の選任

小山市大字横倉新田282番地

宮嶋 誠(新任)

昭和27年2月8日生

〔宮嶋氏の略歴〕

平成16年 職員活性課長

平成19年 総務部長



あいさつする宮嶋氏

常任委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各常任委員会で慎重な審査を経ていきます。2月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務

▼平成22年度小山市一般会計補正予算(所管関係部分)

問 たばこ税が昨年10月に増税されたが、税収の影響は。

答 増税直前の昨年9月にはたばこ税の収入は、かなりありましたが、10月は極端に落ち込みました。しかし、その後はある程度回復したことから、平成23年度予算においては、税収を前年度比5%減で計上しています。

問 基金の現在高は。

答 今回の補正による積み立てをした場合、平成22年度末での現在高は、財政調整基金が18億8239万円。市債管理基金が3億6348万2000円。庁舎建設基金が6億6981万7000円になる予定です。

民生消防



▼小山市国民健康保険条例の一部改正

問 今回の条例改正の具体的な内容は。

答 医療費の増加傾向や税収の増加が期待できない状況であることから、課税限度額の引き上げを行うと同時に、低所得の家庭に対してその状況に応じて実施している軽減措置について、現在6割の軽減を7割とし、4割の軽減を5割とします。また新たに2割の軽減措置を設けます。

▼平成23年度小山市病院事業会計予算

問 市民病院での医師不足が報道されたが、その状況で平成23年度予算案において計画している収益をどのように達成していくのか。

答 病院施設のすべてを活用し、医師確保に全力で取り組み、23年度予算案において計画している収益達成のため努力していきます。

教育経済



▼平成23年度小山市農業集落排水処理事業特別会計予算

問 今後の農業集落排水処理事業の考え方は。

答 平成21年6月から9月にアンケート調査を行い、費用対効果も検討した結果、大谷地区の6自治会と豊田地区の7自治会について農業集落排水が有利との結果が出ました。この2地区を農業集落排水事業に位置づけ、その他の未整備地区は、浄化槽で計画していきます。

▼平成22年度小山市一般会計補正予算(所管関係部分)

問 今後の学校図書館司書の考え方は。

答 各学校に司書教諭を配置することが望ましいですが、現実には12学級以上の学校に学級担任と兼務で配置しています。図書室に専任の司書教諭を配置することは、現状では難しいと考えています。

建設水道



▼平成23年度小山市公共下水道事業特別会計予算

問 水処理センターの整備状況

予算審査特別委員会審査から

況は。
答 今の行われている水処理センターの増設工事により、現在下水道工事を施行している地域には対応できません。しかし、他の未整備地区の整備および整備済地区の水洗化率が高まっていけば、現在施行している増設工事の部分が完了しても、能力を超えることになるため、今後の状況を見極めながら、さらに次の整備を検討していきます。

補正予算
問 小山駅中央自由通路における自転車通行について、JRとの交渉の状況は。
答 JRの駅自由通路で実際に自転車の通行を可能としている自治体では、自転車通行についてJRと正式に文書で協議したのではなく、安全対策を講じてJRに説明した上で、自転車を通行させていると聞いており、当市でも同様にJRの理解を得ていきたいと考えています。

▼平成23年度小山市一般会計当初予算
問 子ども手当関連法案が国会で通らなかつた場合における市の対応と市民への影響は。
答 その場合は来年度の議会に減額の補正予算案を提出します。また、児童手当に戻つた場合には、2月から3月の転入者のうち対象世帯の方には、所得証明書等を後日提出

▼平成23年度小山市一般会計当初予算
問 子ども手当関連法案が国会で通らなかつた場合における市の対応と市民への影響は。
答 その場合は来年度の議会に減額の補正予算案を提出します。また、児童手当に戻つた場合には、2月から3月の転入者のうち対象世帯の方には、所得証明書等を後日提出

問 乙女河岸周辺整備事業の事業内容は。
答 27年度までに乙女小学校の南側に、河岸関係の記念館と駐車場を設ける計画であり、23年度は基本設計と地質調査を実施する予定です。ただし、議会へ十分説明をしてから予算を執行します。

入札に際し、地元業者を優先してほしいが。
答 第一義的には市内業者を優先していますが、入札には3社以上を参加させないと競争入札になじまないため、やむなく市内に営業所のある業者を入札に参加させる場合があります。また、建設関係も市内業者を優先しており、工事額の大きいものは、JVという形をとって機会均等を図っています。

▼平成22年度小山市一般会計
問 環境を提供していくことが大切と考えています。しかし、近年の過密化、過疎化等の人口変動は著しく、地域の実情に対応しながら市内全域について検討する時期を迎えています。平成23年度から学校適正配置等懇話会を設置し、諸

問 医療連携健康づくり事業とは退院後のリハビリ、療養期、慢性期患者の受け入れ施設等の整備事業ということか。保健福祉部長 市民病院の移転新築に合わせて高齢化社会に対応した医療、保健、介護等の連携体制を構築するとともに

問 業務委託や物品購入等に、それらのトータルサポート拠点施設の整備も必要と考えています。疾病予防や健康増進を目的とした市民が健康づくりやリハビリテーション、世代間交流、親子の触れ合いの場として利用できる健康づくり施設も検討していきます。

問 業務委託や物品購入等に、それらのトータルサポート拠点施設の整備も必要と考えています。疾病予防や健康増進を目的とした市民が健康づくりやリハビリテーション、世代間交流、親子の触れ合いの場として利用できる健康づくり施設も検討していきます。

て支援、少子化対策、高齢者、障害者福祉、社会福祉保健、健康づくり、医療対策の充実などの人と企業を呼び込む施策を推進するほか、小山ブランドの創生、開運のまち小山の全国発信など豊かで活力があり、暮らしやすい小山を創造するための予算としました。

市政を問う 2月定例会市政一般質問

2月24日から3月1日にかけて、18人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

学区の見直しや小規模校の統廃合は

石島政己

問 適正規模の学校づくりのための学区の見直しや、小規模校の統廃合を検討する時期がきていると思うが。

教育長 学校適正化は費用対効果だけでなく、学校の伝統や地域への役割、地域住民の思い等を配慮し、充実した教

育環境を提供していくことが大切と考えています。しかし、近年の過密化、過疎化等の人口変動は著しく、地域の実情に対応しながら市内全域について検討する時期を迎えています。平成23年度から学校適正配置等懇話会を設置し、諸

問 医療連携健康づくり事業とは退院後のリハビリ、療養期、慢性期患者の受け入れ施設等の整備事業ということか。保健福祉部長 市民病院の移転新築に合わせて高齢化社会に対応した医療、保健、介護等の連携体制を構築するとともに

問 第6次小山市総合計画の初年度である平成23年度予算編成の特徴は何か。市長 本市の豊かな自然、伝統、立地利便性を最大限に活用し、第6次小山市総合計画に掲げる施策を優先的的重点的に取り組むことにより産業、都市、教育基盤の整備、子育て

平成23年度予算

問 第6次小山市総合計画の初年度である平成23年度予算編成の特徴は何か。市長 本市の豊かな自然、伝統、立地利便性を最大限に活用し、第6次小山市総合計画に掲げる施策を優先的的重点的に取り組むことにより産業、都市、教育基盤の整備、子育て



市内の小規模校（網戸小）

テレビ小山放送の経営状況把握は

野村広元

問 テレビ小山放送の経営改善のため監視を行っていることだが、その分析把握は総務部長 地上デジタル放送移行後は、難視聴地域で利用料の増加が見込まれますが、市から5億円の融資を受けて整備した第6期エリアの加入状況は微増のため、今後の経営状況は樂觀できるものではないかと考えています。この

歴史交流館事業

ためテレビ小山放送(株)幹部と毎月懇談会を開催し、さらなる経営改善に向けた営業活動を展開するよう指導を行っており、総会でも加入促進に向けた取り組みをたどりました。

問 財政状況が厳しい時期に歴史交流館事業は不要不急な事業ではないか。

道路と歩道の間にはガードパイプを

生井貞夫

問 島田橋付近の道路と歩道の間には、ガードパイプ等の防護柵を設置し、通学路の安全を確保しては。建設水道部長 車道と歩道の間へのガードパイプの設置については、歩道幅員が狭いと自転車や車椅子等とすれ違っ

指さしカード

場合に、余裕がとれなくなることも考えられますが、中学生等の安全確保のため、設置について早急に検討していきます。

問 救急隊が聴覚障がいのある

市長 小山市に人を呼び込むための観光や開運のまち小山の発信基地として、国史跡祇園城跡整備基本構想においてガイドランス施設の必要性がうたわれました。小山市の地域資源である祇園城御殿広場、思川などを活用し、歴史のまちづくり推進の拠点施設として観光客の回遊性を高め、中心市街地の活性化を推進し、商業、観光の振興を図ることを目的とした市の発展に不可欠であり、緊急性を要する事

新市民病院建設

問 新小山市市民病院建設の考え方は。

病院事務部長 新病院は1床1500万円で施設整備費用を計上しています。これは独立行政法人福祉医療機構が示した標準建設単価を参考としました。豪華病院を新築して元利償還金の返済に窮し、病院の存続が危惧される病院もあるので、知恵を出し経営に

バス初動対応訓練

問 市コミュニティバス運行事業を実施していることから、無差別殺傷事件を想定した初動対応訓練を実施しては。

市民生活部長 危機管理マニュアルは、各コミュニティバス運行事業者が作成し、研修等で活用していますが、小山市コミュニティバスとして統一した危機管理マニュアルを、今後警察やバス事業者と協議しながら作成します。また、県警が行うバス襲撃を想定した訓練等には、市やバ

業として推進しています。

負担をかけずに低コストで建設された病院を参考にし、建設を推進していきます。



テレビ小山放送

ス事業者等の関係者にも通知いただくよう依頼するとともに、バス事業者と危機管理講習会を定期的に開催するよう警察と相談していきます。

議会だより 表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。
- あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
- 問い合わせは・・・議会事務局（☎22-9463）までお気軽に！



島田橋の歩道と車道

市政一口メモ

※パブリックコメント（意見公募手続、意見提出制度）通称パブコメ——公的な機関が規則や命令などを制定しようとするときに、広く公に（パブリック）意見を求め、改善案など（コメント）を求める

手続きを言う。その影響がおよぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによってより良い行政を目指すもの。

国民健康保険税収納率対策は

関 良平

問 国民健康保険税の収納率 県下最下位対策は。

企画財政部長 小山市は、現年度と滞納繰り越し分を考慮し納税指導を行っており、滞納分を含めた総収納率では県下7位です。本年は現年度分の納入についてコンビニ収納

を始めたことにより前年同期と比べ1.8%上昇しています。平成23年4月よりクレジット

収納を開始する予定であり、コンビニで過年度滞納分も納入できるシステムを整備しています。国保税についても栃木県滞納整備機構と連携して

滞納整理を実施しています。

平成23年度予算

問 平成23年度予算編成方針は。

市長 歳入の根幹をなす税収の低迷と各種交付金の減収など、非常に厳しい財政状況にあるものの、人件費、公債費の縮減など、経常経費の削減による歳出構造の改革を進め

子ども手当

問 子ども手当地方負担の計上や今後の対応は。

保健福祉部長 平成23年度予算では、子ども手当法案が成立するものとして市負担分の事業費を計上しています。子ども手当法案が承認されない場合は、児童手当法に切りか

るとともに景気、地域経済の活性化、雇用対策および子育て支援、少子化対策、高齢者・障がい者福祉、社会保障、保健、健康づくり、医療対策の充実、並びに環境エネルギー対策、自然共生社会づくりの推進の3本柱を柱とした予算編成としました。

わり、子ども手当の2、3月分、児童手当として4、5月分を6月に支給されると思いますので、国、県の動向を注視し、児童手当法に対応できるように子ども手当システムを修正し、対象者の抽出にも対応したいと考えています。

保育所整備計画案の進め方は

青木 美智子

問 公立保育所を統廃合し6カ所にする保育所整備計画案の進め方、臨時保育士との組織構成の課題と男性の採用は

保健福祉部長 今回策定した保育所整備計画（素案）について、今後パブリックコメント等を実施した後、市議会の理解を得ながら計画を策定していきます。また、今後10年間の間に保育士職の半数が定

年退職となる見込みのため、保育所整備や保育士の年齢構成等を想定した上で保育士の計画的な配置を行います。また、保育士の採用について男女の差は設けていません。

学童保育クラブ

問 市街地の大規模小において学童保育クラブに入れない

「小一の壁」が起きているが、

現状をどう捉え、その対応は。市長 学童保育クラブについて、当市では平成23年度から幼稚園等施設の活用による放課後児童健全育成事業を開始し、6カ所の開設を予定しています。近年児童数が減少傾向にあることや施設整備を充実させてきたことから、平成27年度までに2カ所の設置で対応できると考えています。

歴史資料館

問 「開運のまち小山」は学

術的裏付けがない。甲冑等を展示する歴史資料館のハコモノ建設はやめ、博物館を充実させて活用すべきでは。

企画財政部長 ガイダンス施設の整備については、小山市国史跡祇園城跡整備委員会において検討してきましたが、その別組織として小山市歴史交流館検討懇話会を設置し、基本計画について検討しています。その内容について、同整備委員会において説明したところ、委員の方から、伊澤

甲冑コレクションを活用することはすばらしく、文化財としても重要との評価をいただいています。



市内の保育所（やはた保育所）



コンビニでも税金の納入が可能となった

市道20号線拡幅の進捗状況は

岩崎 昇

問 市道20号線の拡幅についてその進捗状況の内容を伺いたい。

建設水道部長 当市では、都市計画道路の中で最優先に整備する路線として、間々田東通りと城東線を選定していま

す。間々田東通りについては、平成26年度の完成を目指しており、城東線については、間々田東通りの事業進捗を考慮

して、事業に着手したいと考えています。一方、用地先行取得事業として、既に平成19年度から道路線で3件の用地を取得している状況です。

TPP

問 TPPについて、日本の農業に対する影響について、今後小山市の農政の取るべき姿勢について伺いたい。

スポーツ施設整備計画の策定を

山野井 孝

問 スポーツ施設整備計画を策定し、それに基づいた整備を進めるべきである。進捗状況を、今後の進め方を伺いたい。

教育部長 当市では、平成16年から25年までの小山市スポーツ振興基本計画の中でスポーツ・レクリエーション施設

の整備計画が示されています。23年度は、引き続きスポーツ施設の調査を行い、市民と利用者団体などの意見を伺いながら、同振興基本計画の中から施設整備計画の見直しに取り組んでいきます。

市道整備

市道240号線拡幅

市長 TPPは関税全廃が原則のため、TPPに参加した場合、農林水産省では日本の農業に莫大な影響があると試算しており、小山市の農業にも大きな影響があるものと推測されます。そのため、当市としては、これまでTPP交渉参加検討の撤回を求めてきましたが、今後は、TPP交渉参加反対を求めていきたいと考えています。

問 市道240号線の拡幅とその進捗状況について伺いたい。

建設水道部長 今年2月に関係者の皆様に意見を伺ったところ、計画幅員を7mにしてほしいとの意見がありました。今後は、地元の意見を基本として道路法線案を検討した後、説明会を開催し、道路法線および最終的な幅員を決定し、平成23年度に道路詳細設計等を実施していきたいと考えています。



市道20号（大字雨ヶ谷新田）

スポーツクラブ

問 総合型地域スポーツクラブの財政的・人的支援およびクラブ設立への支援をお願いしたいが、考えを伺いたい。

教育部長 新しいクラブの設立については、マネージャー

の育成や、説明会の開催および専門講師の派遣などを支援しています。また、国では、財団法人日本体育協会が窓口となり、クラブ設立までの活動を対象とする事業に対し、上限を120万円とする補助制度を定め、支援しています。

市政一口メモ

※TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)

—2006年にニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイの4カ国が発効させた自由貿易化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品等、加盟国間で取引される全品目について関税を100%

%撤廃しようというもの。日本はこれまでTPPに対する姿勢を明らかにしていなかったが、2010年10月に開かれた「新成長戦略実現会議」で菅直人首相がTPPへの参加検討を表明した。



小山運動公園テニスコート

市政一口メモ

※蛭橋——昭和9年に中小学校から南へ100mの上泉と下河原田の境界にある巴波川に架設された橋で、橋長46m、幅員5.5m。架設後75年が経過している。岸辺にヨシやアシが密生し、ホタルが生息するの絶好の条件を備えていた。ホタルの名所にちなんで蛭橋と名づけられ、小山百景にも選ばれた中地区のシンボル的な橋となっている。

中地区における地域振興対策は

大出ハマ

問 地域振興対策、中公民館改修、里親による桜堤整備、耕作放棄地対策、蛭橋の改修等、考えはどうか。

答 中公民館会議室の増築については、状況を十分に調査し、施設の機能、時代への対応なども考慮して今後

検討していきます。

市長 今後の中地区の桜堤整備については、本郷橋上流左岸側に植栽可能な区間が約300mあるため、栃木土木事務所や中地区桜の里親協議会の皆様と協議していきます。

経済部長 下河原田内の未整備の農用地区域を圃場整備することにより、耕作放棄地を解消して、非農用地を創出し住宅用地に転換する事業について地元説明会および意向調査を実施しました。その結果、地権者43人のうち反対者5名、意思表示なしが18名という内容であり、今年度においても引き続き地元自治会、土地改良区の役員の方々に地

医師や看護師の確保対策は

浅野和朋

問 医師、看護師確保について、地方自治体独自に養成する動きが出てきているが、小山市の対策はいかがか。

答 確かに新病院建設のタイミングで考えなければならぬことと思いますが、そのためには準備の期間等を含めて、まだまだ時間がかかると思います。医師の確保については、私や幹部職員の人脈

を生かした大学関係医療機関に繰り返し派遣要請をしています。また、看護師の確保にも真剣に取り組んでいます。今回、対策の一つとして修学資金の貸与上限額を月額6万円に引き上げる条例改正を上程させていただきました。

新市民病院計画

問 新市民病院基本計画案は、

運営形態の方向性、病院機能の順位づけを固めた上で進めるのが現実的ではないか。

答 基本構想で示された内容はより具体的に新病院の運営や施設に反映させるためにも、現病院の現状における改善点や新たに設定された方向性等について院内で十分検討を行い、関係機関や各種委員会との協議も行ってまいります。特に、市民病院の顔と

いうべき得意とする分野を大

元の事業推進の体制固めをお願いしていきます。

副市長 現在、当市では長寿命化修繕計画を平成23年に策定するため、蛭橋を含めた市内にある橋長15m以上および幹線市道にかかる橋長10m以上の56橋について点検業務を実施しています。その長寿命化修繕計画の中で、緊急性、必要性を考慮し、整備計画を策定していきます。

入札制度

問 入札制度（物品関係）について、市内業者の優先、および価格の検討を。

答 総務部長 業者選定にあたっては、地域経済の活性化および大きく伸ばし、地域医療機関との連携を深めて、市民から信頼を得られるような地域完結型医療を進めてまいります。

結城紬振興策

問 結城紬振興策は、小山市民向けばかりでなく、県、国へ強力に働きかけ、息の長い支援策とすべきでないか。

答 市長 将来的に国の助成も是非いただきたいと思っており、文科科学省、経済産業省にも要望活動をしております。ま

び雇用の安定などに配慮することも重要と考えており、市内業者で対応が可能な業務においては、入札参加資格者の中から極力市内業者を優先に選定しています。



巴波川に架かる蛭橋

た、県にも要望しており、第一段階として小山市で助成策を設けたところです。



市民病院のナースステーション

文化の森建設予定地利用の考えは

岸 興平

問 文化の森の利用を市ではどのように考えているか。

企画財政部長 文化の森建設予定跡地については、美術館等の施設を整備する目的で、小山市土地開発公社が取得したのですが、市の財政事情が悪化したため、平成11年に事業の延期を決定し、それ以降、有効な活用方法が見出せず、現在に至っております。

同跡地は、新小山市市民病院の建設候補地の一つとして検討してきましたが、同候補地は不動産鑑定後に新小山市市民病院建設懇話会で決定される予定です。

給水量の確保

問 人口増が見込まれるが給水量の確保はできるのか。

副市長 市では水利権の取得

により、思川の表流水を主な水源として、水道水を給水しております。今後の人口増加や自家水から市水道への切替えなどにより、給水量の増加が見込まれます。そのため、

長期的な水需要の見通しに立って、必要な水道水源を確保し、今後とも安全で安心な水道水を安定して供給していけるよう努めてまいります。

米の消費拡大

問 米の消費、拡大は図れないか。

配付していただき、必要な人には福祉課、高齢生きがい課の窓口でも配付する予定です。

日本脳炎ワクチン

問 日本脳炎ワクチン接種で中断していた2005年から2010年までの空白期間に未接種だった方をどう対応するのか。

保健福祉部長 市では平成22

いか。また、農業の6次産業化は。

経済部長 米粉用米や飼料米などの作付けは、平成22年産では約67ヘクタールにまで拡大しており、市内穀粉会社、飼料会社等と市、JA小山が連携して、さらなる販路拡大を図っております。

市長 市では6次産業化農業振興事業として、農業者と商工業者などのグループから提案された新商品の開発等に対し、小山ブランド化を推進す

る品目には70万円、その他の農業資源には50万円を限度として、補助をする予定です。



文化の森建設予定地跡地

「命のカプセル」の内容と配付方法は

荒川美代子

問 高齢者や障がい者の方の安全安心を確保するための医療情報キット「命のカプセル」の内容と配付の仕方は。

副市長 「命のカプセル」とは、救急情報を書き込んだ用紙等を入れたカプセルを冷蔵庫に入れておくことにより、

急病等で倒れた時に駆けつけた救急隊員が、それにより迅速な対応ができるようになるものです。本年9月に民生委員さんに災害時見守り情報個別表に登録のある一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯

および障がい者のいる世帯におよび障がい者のいる世帯に

市政一口メモ

※6次産業——農業や水産業などの第一次産業が、食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表す。例えば、農業のブランド化、消費者への直接販売、レストランの経営などが挙げられる。コンセプトやスローガンとしては非常に分

かりやすいが、いかにして実践していくか。各次の産業の連携による農村の活性化や、農業経営体の経営多角化のキーワードとして提唱される。

中小企業支援

問 中小企業支援のための便利帳の作成と働く側から見たサポートガイドの作成をしてみてもいいか。

経済部長 これまで市では「金融のしおり」やパンフレットを作成し、市内の金融機



冷蔵庫に常備した「命のカプセル」

市政一口メモ

※プライマリーバランス—国や地方自治体などの基礎的な財政収支のこと。一般会計において、歳入総額から国債発行収入を差し引いた金額と、歳出総額から国債費を差し引いた金額のバランスをいう。プライマリーバランスが釣り合っていると、国債の元本償還や利払いに要する費用を除くすべての歳出について、税金など国債発行に頼らない収入によって賄えることを意味する。

小山市防災広場の場所と予定は

小川 亘

問 生井地区に整備される小山市防災広場の場所とスケジュールは。

市長 庁内委員会および地元関係団体の代表者で組織する懇話会において小山市防災広場基本計画を検討いた、たいており、現在まとめの段階に入

っています。同計画では防災広場を旧思川と下生井の桜堤の間に整備するようになっていきます。今後は、23年度に基本設計、24年度からは社会資本整備総合交付金を導入し、5年間で整備を進め、28年度の完成を予定しています。

特別支援教育

問 特別支援教育サポーター配置の23年度の配置人数は。

教育長 特別支援教育は重要課題の一つとして取り組んでおり、平成17年度から継続して実施しています。23年度における特別支援教育サポーターの配置人数は、前年度と同様の23名とする予定ですが、

サマーフェスティバル

問 サマーフェスティバル2011の開催日程および開催時間は。

経済部長 2月16日に開催されたサマーフェスティバル実行委員会において、日程は7月の最終週の土日とし、本年は7月30、31日の2日間と決定しました。開催時間については、30日のオープニングカーニバルは午後3時から午後

9時まで、31日の花火大会は午後7時15分から午後8時45分までです。なお、オープニングカーニバルにおける「灯の舞」等のパレードも前年同様、安全最優先で実施する予定です。

公用車集中管理の考え方は

福田洋一

問 公用車集中管理をして、軽費削減を目指す、内容についてどのような考えか。また更新についての考え方は。

総務部長 各課で専用とした公用車以外の車の中から30台を共用車として管財課で集中管理し、貸し出しするものです。更新については、一定の年数を超えたものや不具合のあるものについて、予算の効

平成23年度予算

問 平成23年度予算方針と景気・地域経済活性化対策は。

そして更なる歳出構造の改革はどのようなものか。企画財政部長 税収の低迷と各種交付金の減収など、非常に厳しい財政状況にあります

桑地区コミュニティ

問 桑地区コミュニティ施設整備構想基本計画にあたり、今後の進め方、また、どのような内容を考えているのか。

市長 平成23、24年度において、桑地区コミュニティ施設の基本構想、基本計画を策定することとしており、策定後直ちに基本設計、実施設計な

ともに、^{*}プライマリーバランスを考慮し、市債残高を着実に削減します。

どを行い、平成26年度中には建設工事に着手する予定です。



小山市の公用車



防災広場予定地（大字生井地内）

勤労者総合福祉センター建設を

中屋 大

問 三峯の第三保育所跡地に小山地区勤労者センター機能を盛り込んだ勤労者総合福祉センターを作ってほしい。

経済部長 これまでも連合栃木関係者と協議を行い全労済や労働金庫との複合施設等を含めて検討を行ってきましたが、市の財政や連合栃木の財政事情等から早急の結論は困難な状況にあるため、当分の

間は現在の勤労者福祉会館の有効活用を図っていききたいと考えています。

大谷東小プレハブ

問 大谷東小プレハブ校舎工アコンの設置について、昨年の12月議会において検討するということがあったが、どのように検討したのか。

市長 プレハブ校舎は鉄筋の

建物に比べて断熱性が低く、更に高温となることが予想されることから、猛暑への対応策として、屋上緑化や断熱材

換気扇設置など様々な検討を行いました。その結果、費用対効果を考慮し、普通教室にエアコンを設置することとして予算を計上しました。

普通教室エアコン

問 小山市では平成23年度予算に普通教室エアコン設置に伴う設計業務委託費とあるが、

あります。この方に対しては今後も来庁をひかえてもらうようお願いするなどし、対応していきます。

リフォーム助成

石川正雄

問 住宅リフォーム助成制度が必要と思うが、助成はできないか。

建設水道部長 小山市住宅マスタープランでの基本項目の一つである安全、安心な暮らしを実現する良質な住宅取得の形成を目指し、国の補助制度を活用し、平成20年度から耐震診断や耐震改修などに助成しているところです。一般住宅個々のリフォーム助成に

具体的にどのような内容か。

市長 昨年の夏は、夏休みの期間が過ぎて、猛暑が続いたことから、各小中学校では児童生徒の体調確認や授業方法の工夫などを行ってきました。このような中、確かな学力の向上を目指した教育の実現に向け、児童生徒へよりよい教育環境を提供するため、小中学校普通教室へのエアコン設置に向けた導入方法の検討を行う調査業務の予算を計上しました。

については制度になじまないと考えています。個々の住宅の改修への助成は困難と考えています。

選挙対策

安藤良子

問 統一地方選挙について、投票率向上対策や、投票所環境対策はあるか。開票のための工夫は考えているか。

選挙管理委員会書記長 前回の統一地方選挙に比較し、間々田地区の投票所を2箇所から3箇所を増やしたり、バリアフリー化されていない投票所へ、スロープや段差解消の措置を随時行い、有権者の利便性の向上を図りました。ま

個人質問から（質問順）

グリーン電力

山口忠保

問 グリーン電力（グリーン熱）証書の発行・活用で、太陽光やバイオマスなど再生可能エネルギーの普及・拡大を副市長 太陽光発電の普及促進のためには、補助金の交付に加えて自家使用分の環境価値をグリーン電力証書として活用することは、とても有効な施策であると認識している。今後実施に向け研究調査をしていきたいと考えています。

クレーマー対策

角田良博

問 市役所に毎日来庁し、職員に正常な執務を妨害するクレーマーに対して、庁外退去や警察へ通報する等、対策をすべきだ。

総務部長 この方については、非常に執拗で説明しても理解していただかず、繰り返し来庁しており、警察との懇談会の中でも、この問題を取り上げ、検討をさせていただきました。しかし、警察としても対応は難しいということですが、また、マニュアルを作成しても、そのマニュアルに対応できるだけの職員個々の度量も

第三保育所跡地



た、今回の統一地方選挙から大学生に実際の投票事務を経験してもらうことで、若者や有権者の意識向上を図る予定です。



期日前投票のようす

議会日誌

〔1月〕

- ▽31日 会派代表者と市執行部との定例懇談会／会派代表者会議／議会広報委員会／議会改革推進協議会専門部会

〔2月〕

- ▽1日 小山市市民病院整備対策特別委員会
- ▽2日 議員全員協議会／議会改革推進協議会
- ▽3日 議会運営委員会
- ▽9日 議員説明会
- ▽16日 議会運営委員会／議会基本条例策定作業部会
- ▽25日 議会広報委員会
- ▽28日 議会改革推進協議会理事会

〔3月〕

- ▽1日 議会基本条例作業部会
- ▽3日 民生消防常任委員会
- ▽4日 教育経済常任委員会
- ▽7日 建設水道常任委員会
- ▽8日 総務常任委員会
- ▽9日 予算審査特別委員会
- ▽17日 議会運営委員会／議員全員協議会／小山市市民病院整備対策特

〔4月〕

- ▽7日 議会広報委員会

別委員会

視察来訪

〔2月〕

- ▽8日 観音寺市（香川県）7人IIコミュニティバス整備事業

行政視察報告

2月7日から8日、小山駅周辺都市整備対策特別委員会による、松本駅東西自由通路（長野県松本市）と、市街地再開発（長野県長野市）の行政視察を行いました。

●松本駅東西自由通路

平成16年7月に工事に着手し、平成19年4月に整備が完了した。自由通路延長110m、幅10m（最大幅15m）で、駅の東口と西口をつないでいる。東口、西口ともにエスカレーターとエレベーターが完備されている。自由通路ができたことで、鉄道で東西に分断されていた街を一体化させる役割を果たしている。この自由通路は事業が始まった小山駅中央自由通路に共通する点が多い。

次回定例会の予定

6月9日(木)	本会議(開会・議案上程)
6月13日(月)	本会議(一般質問)
6月14日(火)	本会議(一般質問)
6月15日(水)	本会議(一般質問)
6月16日(木)	本会議(一般質問・付託)
6月20日(月)	常任委員会
6月21日(火)	常任委員会
6月22日(水)	常任委員会
6月23日(木)	常任委員会
6月29日(水)	本会議(採決・閉会)

※本会議および常任委員会の開会時刻は午前10時からとなっておりますが、変更になる場合があります。また、正式な日程は後日開催する議会運営委員会において決定しますのでご了承ください。

市議会本会議のテレビ中継

テレビ小山放送（5チャンネル行政テレビ）で生放送および録画放送を行っています。また、中央図書館では録画ビデオやDVDの貸し出しを行っています。

臨場感あふれる議会中継をぜひご覧ください。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴したい会議の当日、市役所4階ロビーで備え付けの用紙に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴席に入場できます。（傍聴定員：34名）

ホームページで議会の会議録が閲覧できます。

市議会本会議および常任委員会の会議録がホームページで閲覧できます。なお、引き続き市内公民館・出張所、図書館でも閲覧できます。



3月11日午後2時46分に発生した東日本大地震（東北地方太平洋沖地震）国内観測史上最大のマグニチュード9を記録しました。

震災時、私は事務所で作業をしていて最初は「ああいつもの地震か」と思っていたら、しばらくして大きく揺れだしました。これはただ事ではないと急いで建物の外に避難しました。地震後停電になり、私の家の電気が復旧したのは翌日午前1時を回った頃でした。

テレビで東北の街が津波で飲み込まれる姿は、まるでパニック映画のワンシーンだと錯覚するくらい現実離れた風景でした。正直、今までは小山市には大きな地震は来ないと軽視していました。が、今回は地震の本当の怖さを感じました。

被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。（中屋）

小山市ホームページ <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

◆2月定例会の傍聴人数は、本会議105人（2月22日＝4人・24日＝21人・25日＝43人・28日＝10人・3月1日＝15人・17日＝12人）常任委員会2人（3月3日民生消防＝2人・4日教育経済＝0人・7日建設水道＝0人・8日総務＝0人）